

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月10日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890500028		
法人名	医療法人 幕内会		
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 たなごころ	ユニット名	—
所在地	〒315-0037 茨城県石岡市東石岡5-1-31		
自己評価作成日	平成24年6月18日	評価結果 市町村受理日	平成24年11月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kani=tr ue&amp;JigyosyoCd=0890500028-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=021">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kani=tr ue&amp;JigyosyoCd=0890500028-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=021</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年8月7日	評価確定日	平成24年11月19日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>ご利用者様の状態を短期間又は長期間にわたり、軽度から中重度化していく過程を把握し、柔軟で臨機応変なサービスを提供します。</li><li>緊急時や急変時には、母体である山王台病院にて対応が出来る為、ご利用者様やご家族様に安心したサービスを提供することが出来、透析患者様の利用も可能になります。</li><li>法人勉強会や外部研修へ参加をし、介護だけではなく医療の知識も学ぶ機会があり、職員の介護技術の向上に努めている。</li><li>新設の特別養護老人ホームようようとの連携により、在宅生活が困難になったご利用者様やご家族様にも、長期間にわたりご利用して頂ける様に図っています。</li></ul>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>訪問サービス時に配食サービスを行い、地域の一人暮らしの高齢者の安否を確認するなど、地域に密着した事業所である。</p> <p>地域住民が子ども連れで遊びに来ているほか、利用者は職員と一緒に地域の祭りに出かけ、地域の人々と交流している。</p> <p>事業所自体が地域の一員としての役割を担っており、職員が地域の祭りの炊き出しを手伝ったり、町内の廃品回収に協力している。</p> <p>利用者が今までと同じような生活ができるよう、月2回の外食や近くの店で買い物、花見、ドライブなどの外出支援をしている。</p> <p>泊まりの部屋は洋室と和室があり、部屋毎に壁紙やカーテン、カーペットを変えている。</p> <p>居間や廊下は広く、玄関や廊下の飾り棚には観葉植物や壺を飾ったり、壁面には額入りの絵画を飾り、居心地のよい空間づくりをしている。</p> <p>運営母体が病院で24時間の対応が可能であることや同一法人の介護老人保健施設が隣接し、災害時には協力が得られる体制を整えているため、利用者や家族等、職員の安心につながっている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念に「地域社会との関係を大切にし、これまで築き上げてきた関係の継続…」と謳っており、また、運営目的においても「地域の中で築いてきた様々なつながりの継続」という文言を掲げている。	事業所設立時に代表者が地域密着型サービスの意義を踏まえて作成した「たなごころ運営目的」を理念としている。 管理者は月1回の職員会議で理念を確認して共有を図って実践に努めているが、運営目的に基づいた理念のため文章が長く、職員は理解しづらい。 新任職員の研修に理念を組み入れ、理解を図っている。 玄関に理念を掲示している。	管理者と全職員で理念を見直すとともに、共有して実践に努めることを期待する。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で開催するお祭りや盆踊り、バザー等のイベントへの参加や、ボランティアを受け入れている。同一法人の近接している施設に訪れた保育園児や市内中学生等と共交流している。また、事業所でもバーベキューなど企画し、近隣の方にも参加頂いている。今後も積極的にボランティアを受け入れ、地域との交流を深めたいと考えている。	利用者は地域の祭りに出かけたり市の娯楽施設「ひまわりの館」のバザーに出かけ、地域の人々と交流している。 隣接する同一法人の介護老人保健施設に保育園児が訪問した際や石岡祭りの獅子舞が立ち寄る際には利用者や職員で出かけている。 事業所は中学生の職場体験学習や福祉専門学校生の実習、芸能ボランティアを受け入れている。 近隣住民が野菜のお裾分けを持って来訪したり子ども連れで遊びに来るほか、事業所が開催するバーベキューに近隣住民を招待するなど、事業所は地域の一員として日常的に交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現場での実践を活かし地域の様々な行事に参加している。その際、認知症の方も積極的に参加を促し、地域の人に支援の方法を見て頂き、理解して頂く様にしている。また、事業所においても、地域の方と関わられるような行事を計画している。ボランティアや実習生、施設見学等の受け入れも行っている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて報告や話し合いを行い、議事録の作成により、他のスタッフにも共通の理解を促している。また、月1回のスタッフ会議にて、報告、検討が必要なものに対し協議を行い、サービス向上に努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1回家族等や市職員2名、民生委員、老人会会長など地域の代表5名で開催し、利用者の生活の様子や運営状況、行事の報告などを行っている。 地域の代表から「事業所で実施している配食サービス時に一人暮らしの高齢者の安否を確認してはどうか」との提案があり、職員会議で検討して実施するなど、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 運営推進会議議事録を作成し、家族等に送付している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	「運営推進委員会開催のおしらせ」を市役所に赴いて手渡ししているほか、事業所のパンフレットを市へ持参する際に、事業所の説明や、現状を伝えたり、PRやメールでのやり取りで情報交換等をし、関係の構築に努めている。	管理者は市内の地域密着型介護サービス事業所協議会に出席した際や市担当者が運営推進会議に出席した際に市担当者と話し合ったり情報交換をするほか、介護保険法改正に関する疑問点を聞いたり、利用者に関する困りごとやサービスの内容などを相談している。 市担当者からは敬老会など高齢者に関わる行事の情報を得ており、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内の他の施設と身体拘束防止委員会を開催。また、外部研修や事業所内での勉強会を行い、スタッフの正しい理解に努めている。しかし、利用者様の現状や事業所の立地により、勤務する職員で話し合っ、危険を回避できずリスクが高いと判断し施錠を行う場合がある現状もある。	職員が身体拘束排除に向けた外部研修を受講した際には伝達研修を実施しているほか、職員会議の際に身体拘束に関する勉強会を行っており、全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解している。 身体拘束や行動制限は行わないこととし、身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、やむを得ず身体拘束をする場合に備えて書類一式を整備している。 事業所前の道路は狭く車の通行量も多いため、家族等の承諾を得て玄関を施錠しているが、利用者が外に出る場合は職員がすぐに開錠して同行しているほか、中庭には自由に出入りができるようになっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内での勉強会や外部研修に参加。事業所内においても勉強会等を実施。外部研修等では、研修後、参加したスタッフが事業所内において報告を行い、共通理解に努め、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加し、理解を深めている。参加した者は、報告書を提出し、スタッフ会議にて報告し、他の職員にも理解が得られるように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、家族に対し契約書を用い、時間をかけて十分に説明を行っている。利用料金、事業所内リク、医療連携体制の実際についてなど、事業所を利用する上で関係するものについては、資料等を用い慎重に説明を行っており、同意を頂くようにしている。疑問についても、契約時にはもちろんのこと、随時受け付けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	生活場面で、ご利用者様・ご家族様と関わりながら、ご要望・苦情等を伺い、その都度対処できるものはすぐに反映させ、スタッフ会議にて更に話し合いを行っている。	利用者からは日常の問いかけや会話の中から、家族等からは来訪時や電話連絡時に話を聴くほか、連絡帳で意見や要望を確認している。 玄関に意見箱を設置したり重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記しているほか、家族アンケートを実施している。 家族から「事業所での様子を知らせて欲しい」との意見を受け、管理者は家族等の来訪時に利用者の様子を報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務中に気になる事があれば、管理者が随時受け付けている。また、それを月1回のスタッフ会議で話し合い、今後の運営に反映させるよう努めている。	管理者は朝と夕の申し送り時に職員から話を聞いたり、個人面談を年2回実施して職員の意見を聞く機会を設けている。 職員の提案を受けて調理器具を買い替えたり、利用者が安全に入浴ができるよう浴槽用滑り止めマットを購入している。 狭い道路の運転が苦手な職員の要望を取り入れ、送迎車の順路を変更するなど、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者より代表者に努力や実績、勤務状況などを報告している。また、行事の時などにも事業所を訪れ、業務等を把握している。また、職員が向上心を持って働けるように職能評価も行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修は毎月実施しており、法人内外の研修は、管理者が職員個々の段階に応じたものを選択し、受けられるようにしている。研修を受けた職員は、研修報告書を作成し、スタッフ会議で内容を報告するなど、職員全体で共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内の地域密着型協議会において、事例検討等の学習会や交流会を持ち、地域の同業者とのネットワークを結び、サービスの質の向上に努めています。かつ地域全体としても、サービスの水準向上を目指しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	◦始めてサービスを利用される方には、ご本人が気持ちに折り合いをつけることから支援します。自宅と事業所を上手く利用しながら暮らせる生活スタイルをご本人が理解し、納得されるまで、コミュニケーションを常に取り、ご本人が安心した暮らしが出来るよう支援します。 ◦他施設を利用された方には、事業所と職員に1日も早くなれて頂けるよう、新たな人間関係が築けるように支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	◦相談に来られた御家族の話しを聞いた上で、事業所のサービス内容・支援内容を説明している。御家族が困っている事、不安なことを出来る限り対応する事ができるよう話し合いをしながら、信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	◦相談内容により、可能な限り柔軟な対応が出来るよう努めている。必要に応じて、他サービスの利用を調整するなど、他機関との連携を図りながら希望にそえるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	○利用者から職員が学ぶ事も多く、また励まされる事も多い。人生の先輩として尊敬心を持ちながら、共に暮らしながら支えあう関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	○御家族との情報交換を密に行いながら、利用者様に必要な支援に努めている。 ○利用者様の生活状況や職員の思いを御家族に伝え、共に利用者様を支えながら信頼関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○継続した場所への行事活動を行い、近隣の方との繋がりを大切にしながら、昔の友達関係においても交流できるように努めている。事業所に訪ねて来て来られる友達の方もおり、関係が長く続く様に支援している。	年間行事計画に馴染みのある場所での花見などを組み入れている。 職員は利用者の希望にそって利用者の行きつけの美容院や薬局、スーパーなど馴染みの場所に出かけられるよう同行している。 利用者の友人や知人が面会に来た際には、居間や空いている居室など利用者が希望する場所でゆっくり話ができるように支援し、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	○利用者様同士の関係や相性など職員が間に入り、関係作りの支援に努めている。○出来る限り職員も利用者様とお茶や食事の時間を一緒に取る事により、職員同士の情報を共有し、日々の変化を見逃さないように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	○サービスの利用が終了された方にも、その後の相談が気軽に出来るよう、御家族様に話をしています。また気軽に遊びに来て頂けるように、地域の行事等に参加し、疎遠にならない様に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	○御本人様及び御家族様よりアセスメントし、希望や意向を抽出し、職員間で話し合い意向に沿える様にしています。困難な場合であっても、状態や状況を把握し、御本人様・御家族様のご希望を取り入れ、常に職員間で検討し対応しています。	職員は家族等から話を聴き利用者の生活歴を把握するとともに、利用者の日々の行動や会話、表情などから思いや意向の把握に努め、信頼関係を築きながら利用者の意向にそった支援ができるように努めている。 パチンコをしたいがたばこの煙が身体に合わない利用者のために禁煙のパチンコ店を探し、職員が同行して利用者の希望を叶えている。 意思疎通が困難な利用者の場合は家族等から話を聴いたり、利用者の表情やしぐさなどから思いを汲み取るよう努め、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○御本人の生活歴・生活環境を出来る限り把握し、プライバシーに配慮しながら、一人ひとりの価値観を大切にしたい対応に努めている。 ○契約時に御本人又は御家族にアセスメントするが、あまり話したがらない人には、場面・場面での会話から情報を得て、職員間で共有している。タブーの会話についても同様に行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	○一人ひとりの生活リズムを職員間で情報交換し、御本人の生活像の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	○場面・場面での情報を入手し、職員間で話し合い介護計画を作成している。 ○一人ひとりの生活スタイルに合わせられる様に、出来る限り支援できる環境を職員・御本人様・御家族様と話し合い、計画を立てています。	介護支援専門員は利用者の自宅を訪問したり事業所で利用者や家族等と面談して意向や課題を把握するとともに、職員会議で話し合ったり、医師の意見や家族等の希望を取り入れて介護計画を作成している。 モニタリングを実施するとともに6ヶ月毎に介護計画を見直しているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は随時現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○個人カルテに日々の容態や精神面等を記録し、特記事項は申し送りノートに書き出し、情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	○予定日以外の通所・緊急の宿泊・訪問・延長サービス等、御本人・御家族の要望を取り入れ、臨機応変に対応しています。 ○送迎時間においても、御本人・御家族の希望時間で対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	○御本人と関係のあるボランティア団体や小中学生のボランティアと協力して、御利用者様が活気付く様な取り組みをしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○協力医療機関と連携し、必要時に医療を受け入れられる様にしています。また受診については、通院送迎・付き添い・御家族への報告と一連の支援を行っています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 受診結果は利用者毎に記録し、家族等には来訪時や連絡帳で報告している。 運営母体の病院が協力医療機関となっており、緊急時には24時間対応が可能となっている。 通院できない利用者には協力医療機関の医師による訪問診療が受診できるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	○既往歴に伴う疾病及び、随時の疾病などを観察し、それに付随する症状等の情報を看護職員と日々話し合い対処し、連携を取っています。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	○入退院時には、本人の状態や支援方法等を施設・協力医療機関とで、情報交換し入院時には職員が頻繁に見舞い、精神的に支援しています。また御家族の不安や相談なども医療機関関係者や事業所職員により連携を取りながら、御家族の精神的支えに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	○看取り介護の方針、支援内容を作成し、必要時に説明し看取り介護についての同意書に署名捺印して頂き、終末期を支援しています。	職員は看取りに関する外部研修や内部研修を受講している。 重度化や終末期に向けた事業所の対応指針を作成し、契約時に利用者や家族等に説明している。 事業所では看取り介護を支援しており、利用者の状態が変化した場合に家族等や医師を含めた関係者で話し合い、「看取り介護（終末期ケア）の方針」を説明するとともに同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	○職員において、法人内での医療勉強会や外部研修に参加し知識を身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	○マニュアルを作成し、年2回御利用者と共に避難訓練を行っている。 ○消防署の協力を得て、通報訓練を行い避難経路の確認・消火器の使い方を実際行っています。	消防署立会いのものの通報訓練や消火訓練、避難訓練を地域住民の参加を得て実施しているが、夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 実施記録を作成するとともに職員会議で反省点を話し合って記録に残しているが、次の課題への具体的な改善策について検討するまでには至っていない。 米60Kg、煎餅やクッキー1週間分を常備したり、発電機や石油ストーブ6台を備えているほか、飲料水や衛生用品などは「備蓄一覧表」を作成して屋外の倉庫に保管している。 防災頭巾を用意し、玄関脇の倉庫に保管している。	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、訓練で明らかになった課題の改善策について話し合うことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人情報保護についての理解を職員が把握し、秘密保持の徹底に努めている。</li> <li>○事業所における個人情報の目的を契約時に御家族に説明し、理解を頂き署名・捺印をして頂いている。</li> <li>○利用者様のケアに活かすためにプライバシーにふれる目的と重要性を職員が把握している。</li> </ul>	<p>管理者や職員は利用者を尊敬し、利用者に対する呼び方や言葉遣いなどに配慮して一人ひとりの尊厳を大切に考え支援している。</p> <p>プライバシー保護に関する勉強会を行っているほか、利用者や家族等に個人情報の利用目的を説明し、写真の掲示や広報誌への掲載などについて同意を得ている。</p> <p>個人情報に関する書類は事務室の書棚で鍵をかけて保管し、情報漏洩に留意している。</p>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特に認知症の利用者様は、日々変わる表情やしぐさがあるため観察をし、職員が察知することで、御本人の思いや訴えを出来る限り見逃さないように努めている。常に一人ひとりに言葉かけを行い、利用者様の気持ちを理解できるよう努めている。</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活において、出来る限り柔軟に利用者様の希望を尊重した対応に努めている。</li> <li>○個別にそれぞれの利用者様の望む過ごし方の支援に努めている。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>○馴染みの理美容室や衣料品店への付き添いをしたり、自宅で長年愛用していた小物などを使用している。</li> <li>○行事や外出時などの際は、お化粧品やおしゃれを楽しんで頂ける様支援している。</li> <li>○御家族に協力して頂き、利用者様が愛用していた物など持って来て頂いている。</li> <li>○利用者様一人ひとりのこだわりや価値観を大切にしている。</li> </ul>		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦好みの合わせ、外食や行事食、希望に添う配食を行っている。</li> <li>◦食事の作業や準備、配膳・下膳・片付けなども共に楽しみながら行っている。</li> <li>◦利用者様と共におやつ作りをしている。</li> <li>◦畑で収穫した、野菜を調理し楽しんで頂いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦宅配業者による献立の食材が届き職員が調理している。</li> <li>◦事業所の自家菜園で職員と利用者が栽培した野菜も食材に追加している。</li> <li>◦パンを希望する利用者には主食をパンにするなど、献立に関係なく利用者の希望にそって食事を提供したり、行事食や外食を月2回実施し、食事が楽しめるよう支援している。</li> <li>◦隣接する同一法人の介護老人保健施設では3ヶ月毎に祭りが開催されており、利用者は祭りで提供される焼きそばやたこ焼きなどを楽しみにしている。</li> <li>◦職員は利用者と同じテーブルで同じ食事を摂り、会話をしながら楽しく食事ができるよう支援している。</li> <li>◦利用者は能力に応じて下膳やテーブル拭き、食器洗いをしている。</li> </ul>	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦食事量、水分量に注意し、嫌いな物は代替しバランスを調整している。体重チェックも行っている。</li> <li>◦食生活を考慮し、使用し易い食器類を取り入れ、その人に合わせた時間で食事をしている。</li> <li>◦利用者様の健康状態にその都度合わせ、カロリーなどに注意した食事を提供している。</li> <li>◦嚥下状態に合わせ、食べ易い様に配慮した食事に行っている。</li> <li>◦一人ひとりの個別シートを作成しており、職員が共有し食事を楽しんで頂ける様環境づくりに努めている。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦本人の使用し易いコップや歯ブラシで声をかけながら促している。</li> <li>◦生活習慣を踏まえ、毎食後口腔ケアに努めている。</li> <li>◦就寝前は義歯の洗浄を行い、菌の除去に努めている。</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦利用者様の一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間や習慣でトイレ誘導に努めている。</li> <li>◦個別のアセスメントシートを作成し、利用者様の身体状況に合わせた排泄支援に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らってトイレ誘導をしており、日中は殆どの利用者がトイレで排泄をしている。</li> <li>◦職員はトイレでの排泄や排泄の自立に向けて適切な支援をしており、利用開始時に紙パンツとパッドを使用していた利用者が布パンツ使用になるなど改善している。</li> </ul>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦リハビリ体操や個別レクを行ったり、繊維質な物をおやつに取り入れ薬に頼らない便秘予防に心がけている。</li> <li>◦排泄チェック表を使用しており、一人ひとりの排泄状況を把握している。</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦希望に添い一人浴・朝風呂・夜間浴を行っている。</li> <li>◦希望により行事風呂を提供している。(ゆず浴・バラ浴・菖蒲浴)</li> <li>◦仲の良い利用者様同士で入浴が出来るよう支援している。</li> <li>◦一人ひとりの希望に応じ、曜日・時間を合わせている。</li> <li>◦自宅と同じ環境にする工夫をしている。(化粧水・乳液など用意し自由に使用して頂いている)</li> <li>◦個別のアスマントシートを作成し、重度の利用者様にも個浴楽しんで頂ける様、職員が介助技術を習得するために研修に参加している。</li> </ul>	<p>利用者の希望や状況に応じて毎日、いつでも入浴ができるよう支援している。</p> <p>脱衣所に化粧水と乳液を用意しているほか、朝でも夜でも自由に入浴することができ、利用者は自宅と同じように入浴を楽しんでいる。</p> <p>利用者が入浴を拒否する場合は、利用者との合う職員が声かけをして入浴を促している。</p> <p>柚子湯や菖蒲湯、バラ湯で季節感を取り入れているほか、冬は入浴剤を使用している。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦本人が安心して休める空間を提供している。</li> <li>◦利用者様の生活リズムを把握し、外出や行事がある場合など、個別休息を取り入れている。</li> <li>◦場合によっては、御家族と医師と相談し睡眠状況を報告し薬剤等のあり方についての調整に努めている。</li> <li>◦好きなときに休める環境を支援している。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦個別の処方箋ファイルを作成し、職員が内容を把握できるようにしている。</li> <li>◦医師や薬剤師の指示のもと服薬の管理をしており、医療機関との連携を常に図れるようにしている。</li> <li>◦誤薬を防ぐ為、服薬時は御本人が飲み終わるまで確認をしている。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦TVを観たり、音楽を聴いたり、ドライブ・洗濯物を畳む等御本人がやりたい事を支援している。</li> <li>◦一人ひとりの生活習慣を把握した上で、楽しみや役割を個別に支援し、意欲が引き出せるように努めている。(手作業・畑・洗い物・洗濯等)</li> </ul>		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦地域でのイベントに参加したり、法人内の行事に参加することにより、気分転換やストレス解消に努めている。</li> <li>◦出来る限り外出できるよう計画を立て支援している。(花見・ドライブ・外食・買物・季節ごとの外出)</li> </ul>	<p>事業所は商業地域にあり、利用者だけの散歩は危険であるため職員は利用者の希望にそって散歩に付き添ったり、近くのパン屋やスーパーに出かけられるよう支援をしている。</p> <p>利用者の希望を取り入れて花見や観光地に出かけたり、外食やドライブに出かけるなど、外出する機会を多く設けている。</p>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	◦御家族や利用者様よりお金を預かり紛失防止のため事業所が管理している。使いたい時に使えるように利用者様に安心感を持っていただける様に支援している。また必要な物など御家族に確認を取りながら購入している。	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦プライベートに配慮しながら、電話をかけられる、又は電話で相手と話せる環境を整えている。</li> <li>◦個別に御家族や知り合いの方からの贈り物など自由にやり取りができるよう支援している。</li> </ul>	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦季節感・五感を常に取り入れた工夫を行い、過ごし易い空間作りに努めている。</li> <li>◦事業所内全体が明るく窓を開けたり、自宅に居る環境に近い居心地のよい家庭的な雰囲気になっている。</li> <li>◦換気・空調に配慮し、利用者様が常に過ごし易いようにしている。</li> </ul>	<p>共用空間は清潔に保たれ、適温となるようエアコンで温度管理をしているほか、外気を取り入れられるように天窓を設置している。</p> <p>居間に接している和室には堀炬燵や雪見障子が設置され、照明を含め和の設えとなっている。</p> <p>和室から廊下を隔てて中庭が見え、癒しの空間となっている。</p> <p>居間や廊下に二人用のベンチや椅子を置き、休憩したり利用者の用途に合わせて使用できるように工夫している。</p> <p>玄関や床の間、廊下の飾り棚に壺や民芸品を飾ったり、廊下には額入りの絵画を飾っている。</p> <p>利用者はサンルームから栽培している野菜の成長を眺めたり、お茶を飲みながら飼っている猫と戯れるなど、居心地よく過ごしている。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦フロアには、ソファやテーブル、椅子など自由に好きな場所で過ごせるようになっており、和室は掘り炬燵になり、足が疲れやすいお年寄りに配慮した工夫がされている。</li> <li>◦玄関フロアにはピアノとマッサージチェアが置かれており、好きな時に誰でも使用できるようにしている。</li> <li>◦利用者一人ひとりが1日を好きな場所で、過ごせる環境にしている。</li> </ul>		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦和室、洋室と希望に応じた居室を提供している。</li> <li>◦馴染の物を持ち込み、居室を自由に使って頂いている。</li> <li>◦個室はそれぞれに工夫しており、照明・カーテン・クロス・カーペットを違えたしつらえになっている。</li> </ul>	<p>泊まりの部屋は和室と洋室があり、壁紙やカーテン、カーペットは部屋毎に異なる内装となっているほか、ベッドや整理箆筒、エアコン、洗面台を備え付けている。</p> <p>和室には押入れ、洋室にはクローゼットを設けている。</p> <p>部屋毎に異なるカレンダーを掛けたり掛時計を設置し、短期間でも家庭的な雰囲気の中で暮らせるよう配慮している。</p> <p>利用者は泊まりの部屋に使い慣れた枕や毛布を持ち込んでいるほか、家族の写真や小物を飾り、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦利用者様が安全で安心して生活頂ける様に、廊下・トイレなど手すりを多く取り入れている。</li> <li>◦段差とスロープを組み入れ自宅に居る同じ環境になるよう工夫している。</li> <li>◦和室への段差・椅子・テーブルの高さは、お年寄りが使い易い位置にしている。</li> </ul>		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 小規模多機能型居宅介護事業所 たなごころ

作成日 平成 24 年 11 月 22 日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		たなごころ運営理念の簡素化	職員が理念を共有し、実践に努める	文書を分かりやすくし、毎朝の申し送りに御唱和する	1ヶ月後
2		夜間帯の避難訓練の実施	1回/年	平成24年10月23日夜勤者のみの体制で避難訓練行う	2ヶ月後
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。